

## チャレンジ！！オープンガバナンス 2018 市民／学生応募用紙

地域課題タイトル (注1)	No.	タイトル	自治体名
		街の魅力を語れる人を増やしたい	千葉県流山市
アイデア名 (注2) (公開)	『流山だからできるアイデアを形にする』市民参加ワークショップ MashUP Nagareyama		

(注1) 地域課題タイトルは、COG2018 サイトの中に記載してある応募自治体の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。

### 1. 応募者情報

チーム名 (公開)	Code for NAGAREYAMA+株式会社 Colabo-ya		
チーム属性 (公開)	<input type="radio"/> 1. 市民によるチーム	<input type="radio"/> 2. 学生によるチーム	<input checked="" type="radio"/> 3. 市民、学生の混成によるチーム
メンバー数 (公開)	5名		
代表者情報	氏名 (公開)	白澤 美幸	
メンバー情報		広田有里、吉田健一郎、辻大輝、水澤ジャメイソン	

**(注意書き) ※ 必ず応募前にご一読ください。**

<応募の際のファイル名と送付先>

1. 応募の際は、ファイル名を COG2018\_応募用紙\_具体的チーム名\_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2018 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。 admin\_padit\_cog2018@pp.u-tokyo.ac.jp

<応募内容の公開>

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者と公開に同意したメンバー氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について：
 

「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY (表示) 4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC (表示—非営利) 4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。

(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公表いたしません)
5. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。なお、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

<知的所有権等の取扱い>

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様でお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

<チームメンバー名簿>

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

## 2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容、(2) アイデアの理由、(3) 実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

### (1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、課題解決のために、何をやる社会的なサービス（活動）なのか、をわかりやすく示してください。これが将来実現した場合、魅力的で新規性があり、実践したり、活用したくなる、そしてその結果として、課題が解決される、そんなワクワク感のあるアイデアを期待します。2ページ以内でご記入ください。

<応募チームとして解決したい課題>

街の魅力を語る人を増やすことを目的に、「流山だからできるアイデアは何か」流山のいいところと市民の欲しいものを合わせて、市民提案をする流れを作る

<解決アイデアの内容>

《アイデア抽出の手法》

デザイン思考を軸に、「デザインスプリント」を導入し、下記のフローにて市の課題を一人称の課題へ引き戻し、データにて市の現状との乖離を減らす。

アイデアをアンケート調査し、市民の意識と照らし合わせる。

《実際の導入》

10月

アイデア出しワークショップ：どの様なコンテンツであれば市民が流山市に興味を持ち、語る様になるのか市民参加型のアイデアを出すワークショップを開催

全20案より6案選考

11月

アイデア出しワークショップ：どの様なコンテンツであれば市内在学の学生が流山市に興味を持ち、語る様になるのか江戸川大学にてアイデアを出すワークショップを開催

全4案より2案選考

12月

市場調査：一般市民が「欲しい」と思い「流山らしいと考え」「人に伝えたい」と行動するアイデアはどれなのか市民の意識調査アンケートを実施

1月

流山市開催サウンディング型市場調査にて調査資料提出(予定)

《導入技法：デザインスプリント》

課題解決型のアイデアでは、一般的に良いもの、誰かのためになるものが多く出てくるが、自分でなくても良いもの、他の自治体でもできるものが多いことが課題であった。そこで、「デザインスプリント」を導入し市の課題から一人称課題へと移行しやすい流れや、他の自治体にはないものを検証する流れを作る。

案1) 地域の学生と市民が交流するカフェ

コンセプトは『放課後行くなら、流山』 学生がよれる場所が少ない→大人も気軽に訪れ、学生と交流する！

案2) 家族で遊んで泊まれるアスレチック+キャンプ場

ターゲットは子育て世代手軽に電車できて自然と触れ合える→休日に流山だからできること

案3) 大人も子どもも教育体験多世代ラーニングフェス

多世代が遊びながら学ぶ新しいフェス→新しいフェスを作り出す

案4) キッズの遊び場&ステージ複合型飲食店(カフェ兼居酒屋)

昼間はキッズの遊び場で夜は、バンドもできるステージ→学生も子連れもサラリーマンも寄れる場所を

案5) 流山市から動物の癒し動画を配信

自然と近い街をイメージしやすく→流山がこんなことしてる！と多くの人に知ってもらいたい

案6) 公園併設コミュニティスペース付保育園

保育園不足問題を解消し地域に開かれた保育園→地域のつながり大人の居場所を！

案7) 民泊で旅行者と地域の人が溶け込むワークショップステーション

地域の人たちがワークショップを主催できる流山に観光資源を→旅行者を増やして市民と交流

案8) 留学生と交流するワールドカラオケ大会

カラオケ文化を海外へ発信して留学生と一緒に楽しもう→海外の人と一緒に楽しめる観光スポット

参照：配布資料及びアンケート内容

流山市データ

課題解決後の未来:  
本家は自治体だけでなく市民等とともにプロモーションするほうが何倍も効果があると思われる。  
市長が街のことに詳しくなって、市外へその魅力を発信していくためのツールやきっかけが欲しい。

課題:  
※アイデアを採らせるには、課題を採らせる必要がある

課題を採らせる方法:1) ベルツナを設定する

課題を採らせる方法:2) スプリンターの特徴を活かす

課題を採らせる方法:3) 市の得意なこと、苦手なことを理解する

課題を採らせる方法:4) テータ検証を行う

ご個人のデータを記入してください

課題を採らせる方法:2) スプリンターの特徴を活かす

名前: \_\_\_\_\_ 年齢: \_\_\_\_\_ 代

得意なこと(経歴): \_\_\_\_\_ 苦手なこと: \_\_\_\_\_

今回のアイデアで自分が貢献できると思うこと:

- これからご案内する企画の中で**欲しいな**と思うものを2つ選んでください
- これからご案内する企画の中で**流山らしいな**と思うものを2つ選んでください
- これからご案内する企画の中で**他の人に教えたいな**と思うものを2つ選んでください

**案1**

**地域の学生と市民が交流するカフェ**

コンセプトは『放課後行くなら、流山』

- ・進路や人生について相談できる
- ・自然を多く取り入れ、勉強に集中できる

↓

大人も気軽に訪れ、学生と交流する！

**案2**

**家族で遊んで泊まれるアスレチック+キャンプ場**

ターゲットは子育て世代

- ・手軽に電車できてキャンプができる！
- ・近場で子どもと遊べる
- ・いろんなイベントができるスペースも

↓

休日に流山だからできること

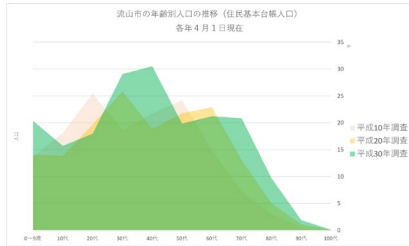
《アイデアとして出た候補》

**(2) アイデアの理由 (公開)**

このアイデアを提案する理由について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ 2 ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類の数値データやアンケート・インタビューなどの資料や関連の計画、既存の施策などの定性データのことを総称します。データは出所を明らかにしてください。

《背景》

千葉県流山市は 3～40 代の子育て世帯が急増しているが特に DAWKS 世帯（パートアルバイトを含めた就労世帯）が 7 割を占めている



流山市住民基本台帳 年齢別人口の推移（住民基本台帳人口） 各年 4 月 1 日現在



流山市教育委員教育総務課 「流山市 来年度の学童クラブ利用についてのアンケート調査報告書」  
（平成 30 年 7 月 5 日～7 月 12 日実施）

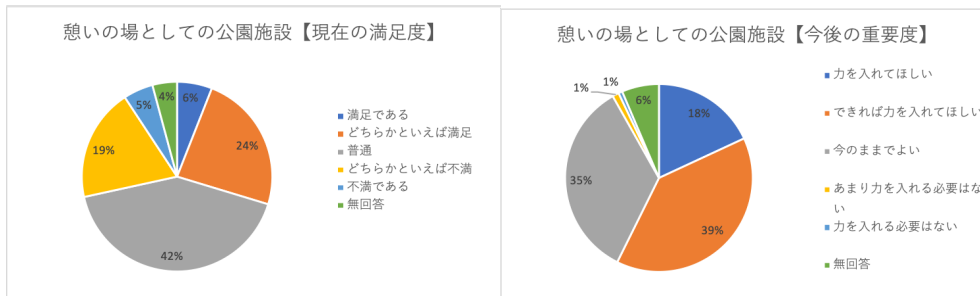
そこで、本アイデアでは現役世代の関心が集まる様、デザイン思考を基本としたビジネスにおいて有効とされている「デザインスプリント」を導入し若年層の意見を取り入れやすいアイデア抽出のワークショップを実施した

《データとの照合》

市民から出たアイデアをデータで検証することにより現状との乖離がないかを検証

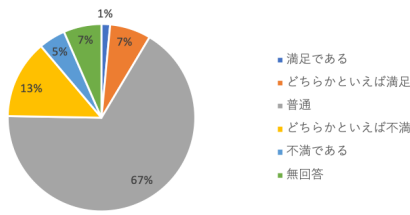
※本件、市民の関心度が高いとされた案のデータのみを下記に記す

憩いの場が必要だと考える人が普通を含める 6 割以上いる。

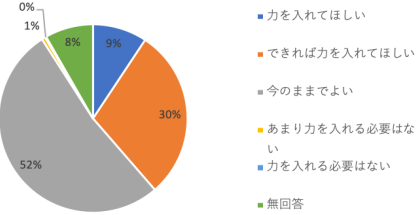


市に意見を言えるか今後力を入れて欲しいと考えている人が約 4 割、現状満足している人は普通を除くと 1 割に満たない。

市に意見を言える機会【現在の満足度】



市に意見を言える機会【今後の重要度】

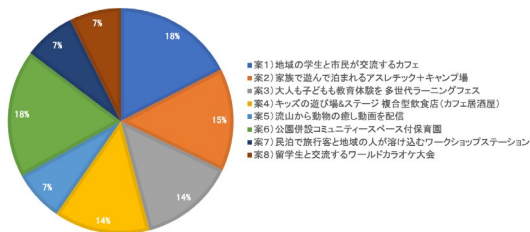


また、高、大学生の意見集約の場がなく、背景や意見の読み取りが難しいことが判明した。そこで、今回江戸川大学の協力を得て、大学生からもアイデアを出すこととした。

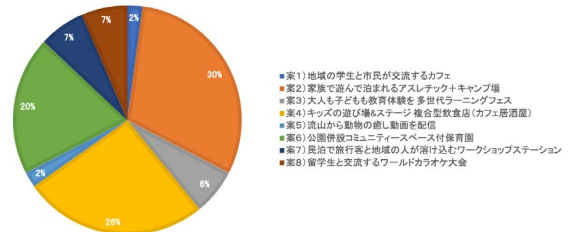
《アンケート実施結果》

単純集計では、差異があまり見られなかった（左下）が、「欲しい」「流山らしいと考え」「人に伝えたい」の3点についての設問により、2つ以上チェックされた選択肢を抽出したところバラツキがあることがわかった。

選択された件数

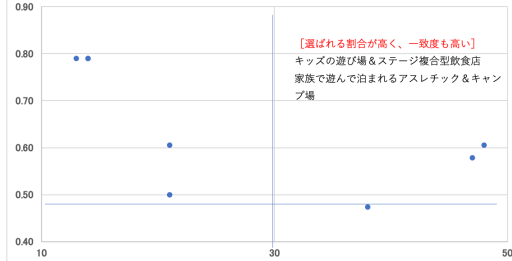


3つの文脈において2つ以上チェックされた割合



そこで、一致度を調べると、2点のアイデアを選考することができた。

選択された件数と一致度の散布図



2018年12月15日森のマルシェ・ド・ノエル内にてアンケート実施

### (3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを実現する主体、アイデアの実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの実現にいたる時間軸を含むプロセス、実現の制度的制約がある場合にはその解決策等、アイデア実現までの大まかな流れについて、2 ページ以内でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

《シビック版デザインスプリント》

本件では、デザインスプリントを導入することにより有効なインフレンスの流れと、フィードバックが得れる。

#### シビックデザインスプリントの効果

##### ① 掛け算によるアイデア



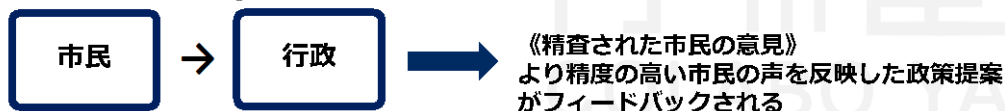
##### ② データによる精査



##### ③ 市民による市場調査



##### ④ 行政へのフィードバック



《登場人物》

- ・アイデアを出すために参加した市民：第一市民
- ・アイデアを出すために参加した学生：学生
- ・アンケート対象となった市民：関心の薄い市民

《街の魅力を語れる人を増やすまでの実際の流れ》

- ① 第一市民は現在人口の増加幅の大きい世代（本件においては3-40代）とし、ターゲットに沿ったワークショップを組み上げる  
↓  
行政の現在の課題と課題と認識するまでの現状調査内容を開示し、市の意思を知る
- ② 第一市民が、一人称で課題を解決するアイデアを出す  
↓  
市の良いところを知り、よくするアイデアを考えるきっかけとなる
- ③ 意見集約が難しい世代（本件においては学生）から、アイデアを出してもらう  
↓

意思疎通のなかなかできない世代にアプローチができる

↓

現状の課題をアイデアという形で吸い上げることができる

④ 第一市民が中心となりアンケートを実施する

↓

市の良い点を話すきっかけとなる

↓

能動的に参加はしないが市を良くしたいと考える市民（本件においては第二市民）からの意見をアンケートという形で吸い上げることができる

⑤ 実施後の提案をする

↓

第一市民が中心となり、現状の課題とアイデアを検証データとともに市に提案

- ・本件①～④までは10月～12月までに実施済である。
- ・⑤については、資料をまとめ、1月に開催されるサウンディングにて提案する
- ・デザインスプリント導入までに、課題の精査、ターゲット設定、会場選定などの業務が必要となる